

平成24年6月教育委員会会議録

1. 開催の日時及び場所

平成24年6月25日（月）10:20～11:00

宇部市楠総合支所 1階応接室

2. 出席委員の氏名

縄田 和光 委員長

石川 壽一 委員

水田 和江 委員

三原 節子 委員

白石 千代 教育長

3. その他議場に出席した者

佐貫教育部長、辻村教育次長、唐沢文化財活用推進室長、上田文化財活用推進室長補佐

4. 趣旨

委員長： 只今から、教育委員会会議を開催いたします。本日は委員全員の出席がありますので、会議として成立していることを最初に報告します。

次に、本日の会議録署名委員についてですが、三原委員さんをお願いしたいと思いますので、よろしくお願ひします。

それでは、本日の議題であります（仮称）ふるさと学習館の名称の選定について、事務局から説明をお願いします。

事務局： （仮称）ふるさと学習館の名称募集の応募状況及び結果について説明をさせていただきます。

（（仮称）ふるさと学習館の名称募集の応募状況、及び選定委員会の状況の説明を行う。）

事務局： 選定委員会において「学びの森くすのき」という名称が選考されましたが、委員からの意見として、「どうしても「くすのき」という名前を入れたかった。」、「宇部市という名前があった方がよかったのではないか。」、「宇部市・楠、2つの地名に対してどちらを入れたらいいか迷った。」という意見もありました。

事務局といたしましたは、多くの市民の方に利用していただきたいと思っておりますが、一方で市外の方が宇部市に来てもらい、宇部の歴史を調べたり、学んでもらいたいと思っております。このため、名称のどこかに宇部市という言葉があった方がいいのではないかと考え、この「学びの森くすのき」という形は崩さず、名称のどこかに宇部市の施設であるという言葉をつけ加えたらどうかと考えています。

（以下の①～⑤について、事務局から名称の提案とその説明を行う。）

①宇部市学びの森くすのき

②宇部市総合学習施設 学びの森くすのき

③宇部市複合学習施設 学びの森くすのき

④宇部市学習交流施設 学びの森くすのき

⑤宇部市文化交流施設 学びの森くすのき

今、5案ほど考えてきましたが、これらを踏まえて、ふるさと学習館の名称をどうするか、ということをご審議いただきたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

委員長：事務局から説明がありましたが、ご質問、ご意見をお願いします。

委員：440件も応募があり、また宇部市のみならず市外からも多数の応募があり、多くの方が関心を持ち、開館に期待を寄せていると感じ、本当に嬉しい限りです。

事務局から提案がありましたように、この「学びの森くすのき」というのは、この土地に建つ施設にふさわしい、いい選考をしてもらったという思いがします。しかし、旧楠とそれから宇部市との合併によって町民・市民が一体というような気持ちになっていく、一体感を醸成していくためのシンボルとなるような施設というような意味合いもあって、楠というところにこだわらただけでなしに、宇部市全体の、市民に愛される、あるいは宇部市以外にもそれをアピールしていくというときには、ご提案のように「学びの森くすのき」というのは非常に心地よい名前でありますけれども、「宇部市」というようなネーミングがどこかにつくといいような印象を持ちました。

委員長：提案された②番と③番の、「総合学習」と「複合学習」という違いをどのように捉えていますか。

事務局：「総合学習」には、色んな学びの場を設けるという意味で、「複合学習」というのは、2つの施設があるので複合としたところですよ。

委員：「学びの森くすのき」は選定委員会で選ばれていいと思いますが、この学習館の特徴でもあり、キーワードとなる「文化」「創造」を入れたらどうかと思います。

委員：提案された中からでは、単純に「宇部市学びの森くすのき」でもすっきり収まるような気もしています。

委員：私は、図書館部門、それから歴史資料館を中心にした資料館の部門と、交流学習施設の部門の、大きく分けたら3つの部門があり、色んな活動、学習活動を総合的に展開する拠点であるといったような意味合いからして、ちょっと長いというような感じがしますが、②番目の「宇部市総合学習施設」でもいいのではないかと思います。

委員長：募集の趣旨のところ、「募集の趣旨の中で、長く愛され親んでもらえる、愛されるシンボルとしてのイメージに相応しく、多くの市民や利用者に長く愛され、親しんでいただける名称を募集します。」とあり、あまり長くない名前の方が、親しみやすいし、シンプルな方が市民も言いやすいような気がします。

委員：私もなんとなく、「施設」という言葉に引っかかりを感じています。

教育長：この施設を市外へ発信するときに、この施設がどういうものであるかを理解してもらい、市外の人にも来ていただき活用してほしい、という願いも込めていくことも大事だと思います。そのあたりでは、「宇部市学びの森くすのき」

でも十分伝わっていくのではないかと思います。「総合学習施設」などは、少し堅い気がします。

委員： 正式名称を建物に表示される場合、名称が長いと、書く時に小さく上に説明を入れて、下に名前が入るイメージになりますか。

事務局： 長い名称の場合、上段にポイントが小さく「宇部市〇〇学習施設」とし、下段に「学びの森くすのき」の2段になると思います。「宇部市学びの森くすのき」ですと大きな文字で1行になります。

建物には、正面横のところに横書きの箱文字が入る予定です。

教育長： 私としては、宇部市の施設として他市へ発信した場合に通用する名前であってほしいという思いもありますから、漢字が多いよりも、「宇部市学びの森くすのき」で十分通用するならそれがいいかなとも思います。

委員： これからこの「学びの森くすのき」が色々な使われ方をしていく中で、あまり、学習交流だとか文化交流だとか限定する名称がつくよりも、学びの森ぐらいにしておいた方が、今後色々な使われ方ができるのではないかと思います。

委員長： 正式名称は、ここでの意見で決定されるのですか。

事務局： 教育委員会での意見を市長へ報告し、最終決定がなされます。

委員： 森という言葉は、色々な意味で参加ができるし、そこから色々なものが出来上がってくるし、イメージも広がってくると思いますので、学びの森というのはとてもいいと思います。

委員： 「学びの森くすのき」というのは、この景観、この場所での学習施設という雰囲気をうまく表していると思います。

委員長： 他にご意見はありませんか。これまでの意見をまとめると「宇部市学びの森くすのき」が最も相応しい名称ということで決定させていただいてよろしいですか。

(全委員異議なし)

委員長： 本日の議題は終了しましたので、以上を持ちまして教育委員会会議を終了します。